

ひとりひとりひかる

# きぼう

2011 4/1  
第64号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp  
檜の木園 : kasiem@k3.dion.ne.jp 檜の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp  
かしの木 ホームページ [http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



## かしの木音楽会

昨年、インフルエンザ対策で開催できなかった恒例の「かしの木音楽会」が、平成23年2月13日(日)尾西グリーンプラザにおいて、華やかに開催されました。出演者の方も、昨年の分までパワーあるステージで、会場を盛り上げていただきました。かしの木の利用者のみなさんも、ステージに上がり、出演者の方とふれ合いながら楽しいひと時を過ごしました。出演者の方々の「来年も元気で、また会おう」という言葉で、来年も音楽会を開催しようという思いになりました。

## 64号きぼうの目次

表紙・写真・目次	P. 1
地域福祉コーナー①/山田優さん講演会	P. 2
地域福祉コーナー②/地域の方々に感謝	P. 3
施設コーナー①/カフェ「ふらっと」	P. 4
施設コーナー②/園芸センター「さいた」	P. 5
施設コーナー③/居宅介護「きーぷ」	P. 6
保護者会コーナー/檜の木園「保護者会」	P. 7
かしの木の会コーナー/イベント委員会	P. 8
文芸コーナー/「くじけないで」	P. 9
お知らせコーナー/予定など	P. 10

## 地域福祉コーナー①

### 一宮市障害者自立支援協議会講演会 山田優さんの講演会を聞いて

一宮市障害者自立支援協議会は、この協議会そのものや、相談支援事業所の役割を地域の方々に大きくアピールすることを目的の一つとして講演会を開催しました。

講師として招かれたのは、「地域生活のススメ」もモットーにしてみえる山田優氏でした。山田優氏は、愛知県障害者相談支援スーパーバイザーとしてご活躍している方であり、そのようなお方を講師として招かれたことは、一宮市が、いかに障害者自立支援協議会に力を注いでいるのかが伺えるかと思われます。

その日は、朝からの大雪でこの講演会は開催されるのだろうか？参加者は大勢来るのだろうか？とても心配しておりました。平成23年2月11日(祝)、尾西生涯学習センター6階、大ホールでのことです。ところが・・・山田優氏の講演会だからでしょうか、一宮市自立支援協議会の企画だからでしょうか、午後1時過ぎには用意された会場の席はあっという間に埋まり、予備イスまでもなくなってしまふほどでした。山田優氏も20分ほど遅れられたのですが、予定どおりの時間には講演を始めることができましたようです。

講演会のプログラムは、一宮市福祉課の障害福祉グループ山内主査の挨拶にはじまり、自立支援協議会生活支援部会長の増田さんが、部会の活動報告を話され、運営委員の野崎さんから、一宮市相談支援センターの活動内容、相談支援体制についての話がありました。そして山田優氏は、その発表を聞いたあとの感想として・・・「一宮市は行政および福祉関連事業者が協力し合いな

がら、自立支援協議会がひとつにまとまり、一宮市の福祉をよくしようとする動きが感じられる」と褒めてみえました。

それから山田氏は「障害があっても住みなれた一宮で住みたい」というテーマでお話をはじめられました。

まずは、障害福祉計画は、「住みなれた一宮で住みたい」との願いのすべての指針であるというお話を聞きました。障害福祉計画について、わかりやすく解説され、その街の社会資源と、福祉のニーズから計画されることを知りました。

逆に言えば、社会資源すべての状況をつかみ、すべての方の福祉ニーズをつかまないと計画が立てられないということだそうです。そして、自立支援協議会は、そのプランニングにもかかわるし、計画実施の立役者でもあるということでした。

また、山田優氏は、入所施設から地域生活への移行について、そしてその受け皿としてのグループホームやケアホームの整備についてのお話もされ、最後に相談支援のお話をされました。

「住みなれた一宮ですみたい」「入所施設から地域生活へ移行したい」といった地域生活の支援には、相談支援は不可欠であり、相談支援事業所や相談支援専門員の力量が問われること。また、24年度からは、相談支援体制の見直しがあり、一般的な相談支援とサービス利用計画を作成する相談事業者に分けられること。さらに地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、**基幹相談支援センターが設置されて、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の相談を総合的に行う**ということだそうです。

会場には、行政の方々、相談支援従事者、福祉事業所関係者、保護者、当事者の方と色々な方がみえました。少し専門的な内容ではありましたが、どの方にもわかり安く大変参考になるお話を聞くことができました。(かしの木の会会長 黒原 勉)

## 地域福祉コーナー②

### 日本財団様より送迎バス 整備の助成に感謝。

2010年10月末に、日本財団様より、檜の木福祉会に対し、送迎バスの整備の助成金交付決定のお知らせをいただきました。ありがとうございました。送迎バスはシベリアンロング29名乗りになります。使用施設はかしの木サポートプラザ（北丹町）になります。この施設では、障害福祉サービス事業として、就労継続支援事業と生活介護事業を実施しており、現在20名の方が利用しております。自宅から事業所までの送迎は、ご本人にとっても、ご家族にとっても重要であり、新しいバスがこの役割を果たして行きます。3月22日に納車され、早速活躍しています。誠にありがとうございました。



2010年度日本財団様助成

写真：29名乗りマイクロバス（日産シベリアン）

### 年末のご厚意、ご協力の 10年に感謝。

しょうがい者への福祉は地域市民の皆さんに理解を得、ご支援・ご協力を得て、いっぽ一歩、進んでいます。今回のご紹介は、ののべ尚昭様（稲沢市在住）です。ののべ様は、かしの木の里建設のころに、稲沢市に住む知的障害の皆さんが檜の木福祉会に多数利用していることと、しょうがい者本人に少しでも喜んでもらいたいと、この10年間、

年末の忙しい中、足を運んで頂いております。ヨーロッパなどの障害福祉にも精通しておられ、地域の障害福祉をいつもあつく語られています。昨年末には、シュークリームとヨーグルトをそれぞれ200個届けて頂きました。また、関係する行事の粗品にと檜の木作業所自主製品のクッキーやポン菓子を300個ご注文いただくなどのご協力を頂いております。いつもありがとうございます。

かしの木職員 石田

### 日頃の園芸ボランティア に感謝。

檜の木園で授産活動としての園芸を始めたのが、平成12年のことでした。小さなビニールハウスを、檜の木園のグラウンドに建てて、細々と花苗づくりを始めました。種まき、植え付けはほとんど職員で、みなさんの仕事は土入れと水遣り。農繁期（3月から6月頃、9月から11月）には、苗をポットに植えつけることに人手がかかり、それを不憫に思った保護者や、そのお友達の方々が、園芸ボランティアグループをつくりました。毎週水曜日の午前中、5人から8人の方が植え付けや、土入れを手伝ってくれました。おかげで、色々な花苗を生産することができ、多くのお客さんが檜の木園に花苗を買いに来てくれました。売上げも年間100万円に手が届くところまでいきました。本当にありがたかったです。

このボランティアさんの活動は、檜の木園から、西五城山方の園芸センター「さいた」に移っても続けられています。「さいた」の花苗生産販売が地域の中で、浸透し定着しつつあるのも、この園芸ボランティアさんのおかげでもあるわけです。今年度から、「さいた」は檜の木作業所からステップの所属になりました。これからも、ボランティアさんの力が必要です。よろしくお願いします。

檜の木作業所 只井

## 施設コーナー①

### ふらっと

### 樫の木給食センター

### Cafeふらっと

樫の木福祉会27年目の新しいページの第一歩として、平成19年4月にふらっとの事業がスタートしました。

給食センターでは、当初は130食ほどのお弁当を作っていました。が、今では200食のお弁当を作って各事業所に配達をしています。

1年に1回、嗜好調査を実施し皆さんのご期待に応えられるように美味しいお弁当を作っています。

### その一年後、

平成20年4月に、店舗事業1号店として「Cafeふらっと」がオープンしました。

たくさんの方々からのご協力をいただきながら試行錯誤しながらの喫茶店経営でした。少しずつ地元のお客様が来られるようになり活気のある喫茶店になっていきました。

お客様のニーズに応えるために、メニューリニューアルを2回実施しました。今では、ドリンク、ランチ、モーニング・アフタヌーンサービスも充実しております。

### たくさんの方々との出会いが、

平成20年9月、一宮商工会議所青年部さんから、第2回モーニング博覧会のスタンプラリーのお誘いがあり参加しました。翌年の10月25日は一宮市本町商店街で開催された、「第3回モーニング博覧会」に出店しました。

平成22年9月17日より2週間、名鉄百貨店一宮店の一宮モーニングのアンテナショップ「イチモ」でふらっとのモーニングが再現されました。

10月17日には、萩原商店街さんからお誘いをうけ「第6回素人チンドンコンクール」での「萩原モーニング博覧会」に出店しました。



「H22・10・17 チンドンコンクール・萩原モーニングにて」

11月1日からの、モー1グランプリ・スタンプラリーに参加しました。

他にも、名古屋弁カルタの1枚に、ふらっとのアイスコーヒーとモーニングが載ったりすることもありました。



「H22・6・22 名古屋弁カルタ撮影時」

### これからのCafeふらっと、

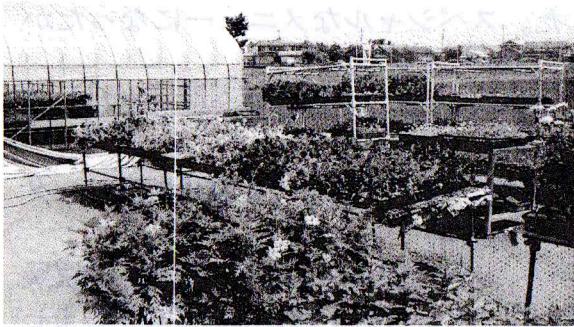
現在、一宮商工会議所ビジネス支援センターさんに協力していただき、店舗の事業計画、マーケティング戦略をおこなっています。

今後も、地域に根付いていけるよう、ひとりひとりの笑顔が「ひかる」ものに展開できるように想いをこめて。

就労継続支援B型事業 喫茶事業スタッフ

## 施設コーナー②

こんにちは「さいた」です



桜もまた、いつものように花をつけ、春風の中に舞っていきます。新しい年度が始まりました。そして、檜の木園芸センター「さいた」が少しリニューアルです。

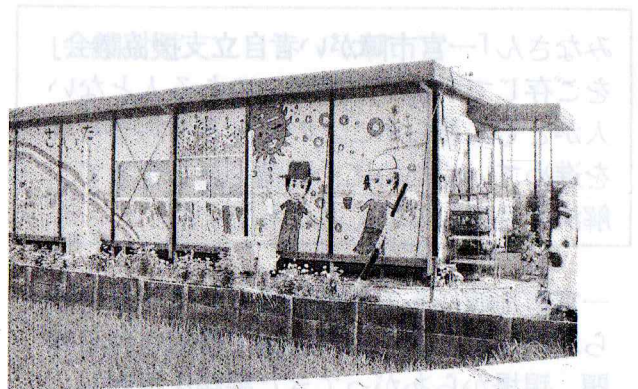
檜の木園で始まった園芸の活動は、10年前その当時のガーデニングブームにも乗って、徐々に売上げも伸び、スタッフの草花苗の栽培育成技術も向上していきました。

そして、平成20年に地元の地主さんから無償貸与で土地の提供をうけて、檜の木園芸センター「さいた」としてスタートしました。これを運営していたのは、檜の木作業所の利用者と職員です。季節の花苗や切花をもとめて、多くの地域の方々が園芸センター「さいた」に買い物をしにきてくださいました。3年の月日がすぎた23年4月からは、檜の木福祉会の日中活動の編成により、ステップの就労継続事業での運営となりました。

利用者も少し変わりました。作業所の方で「さいた」でこのまま活動したい人、特別支援学校卒業で、「さいた」を希望した人、ステップから園芸をやりたい人を募って、改めてスタートです。職員は、そのまま伊藤と櫛田が担当します。新旧おりませた、「さいた」のメンバーになりました。

実は、ビニールハウスも新しくなりました。昨年の猛暑と、1月はじめの雪で、ボロボロになっていたビニールハウスを、檜の木作業所のご好意で新しくさせていただきました。これから4~5年は、このハウスで、いろいろな草花の成長を見ることができるようでしょう。

また、一宮市からの委託を受けての芝生栽培も順調です。昨年から、失敗しないかとおそろおそろ始めた芝生の育成でしたが、みごとに実を結びました。昨年納品した、瀬時保育園、萩原保育園では、7月にはグラウンド一面みごとに緑の絨毯になりました。その成功も手伝ってか、今年は市内保育園3園の芝生の発注をうけました。とてもありがたいことです。



4月からステップの運営となった園芸センター「さいた」ですが、園芸、お花づくりの授産活動をとおして、地域の方々と交流をはかるというコンセプトにはかわりません。たくさんの地域の方々に、お花を買いにきて、精一杯園芸に取り組んでいる利用者の方とふれあっていただけたら幸いです。

この「きぼう」の購読者の皆様も、是非リニューアルした園芸センター「さいた」に足を運んでください。たくさんのお花とたくさんの笑顔がお出迎え・・・

ステップ 園芸センター「さいた」

担当 伊藤三郎



こんにちは「きーぷ」です



暖かな日差しが、緑の木々たちが、ここぞとばかりに顔を出し始めましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？「春」は新生活を送る、なんかドキドキするイメージなのですが、最近はめっきり「花粉症」というなんか・・・悲しげな季節になってしまったな～て思っています。でも・・・進級された方、入学された方、就職された方新しい環境で、仲間で頑張ってください

「きーぷ」も23年度も新しい事に、挑戦していこう～と思っております。

みなさん「一宮市障がい者自立支援協議会」をご存じですか？（障がいのある人となない人がともに暮らすことのできるまちづくりを進めていくために、問題を話し合っ、解決を目指していくところです）

一宮市地域にある相談支援センターに寄せられた相談と個別支援会議で検討される課題、現場からあがってきた課題を検討し、障がいのある方の願い、困りごとを各専門部会で解決策を探ります→

詳細は一宮市障がい者自立支援協議会のリーフレットが市役所などに置いてありますので参考にして下さい

### 一宮市障がい者自立支援協議会 生活支援部会の中に

「ヘルパー連絡会」を発足して頂き組織の一員になりました。

そして先日一宮市にある、介護保険の事業所、障がい福祉の事業所すべてのヘルパーステーションの人たちに集まって頂き「第1回ヘルパー連絡会」を開催することができました

17事業所55名ほどの方に集まって頂きました。

内容としては、まずこの会に参加して、何のメリットがあるか？というところを伝えなくては・・・と最初の案として、「研修？」「いつも同じ内容では来てくれないよね？」いろいろと部会のメンバーで思考錯誤しながら、決めていきました。スペシャルなメニューになったかは？わかりませんが、

- ① 障がい者自立支援協議会とは？なんぞや？
- ② 連携から一宮障がい者相談支援センターの役割
- ③ ヘルパー側から福祉課、相談員への質疑そんなことから第1回目は無事終了しました。感想として、

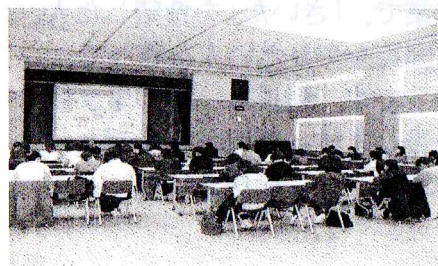
1、難しかったけど、この制度をもっと活用しなくては、と思いました

2、相談員との連携はどうなってるんや？

3、この会が開かれるのを、待ってましたもっとヘルパー同士の交流の時間がほしかったなど 多くの意見を頂きました。

私達は、この地域に生活してみえる障がいのある方が、生まれ育ったこの場所で「ふつうに」安心して生活できるように・・・

という思いでヘルパーに出かけております始まったばかりのこの一宮市の「ヘルパー連絡会」は、いつも利用者の方に一番身近なヘルパーさん達からの、現場の声を大事にしていく事、そして、多くの障がい福祉を共に支えて頂けるヘルパーさんの仲間を増やしていく事を目標にしております。そんな会があるの！！とまずみなさんに知って頂けたら～と思ひましてご紹介致しました。年4回開催予定です。次回は5月12日予定です。また福祉の仕事をもっと多くの人たちに知ってもらうため、福祉バスツアーを開催します。5月26日予定です（詳細は一宮市広報「いちのみや」にて）



山口

# かしの木の会コーナー

## 檜の木園保護者会

檜の木園の会員は43人です。

昨年度の定例会は4回開催することができました。

定例会の出席率は年々少なくなっております。会員さんも高齢者、病気、交通の不便や仕事等で欠席される会員が多くなってまいりました。

役員は、多くの会員さんに出席していただきたいと思い、定例会の回数を減らしたり、案内を早めに出したりして努力をしていますが、なかなか出席率は上がりません。

保護者会の活動としては

- ① 畑を借りて野菜等を作り、収穫して、園や作業所、フェスティバル等のバザーで販売しています。
- ② 園庭の草取りを、1月・2月・8月を除く毎月第1金曜日の午前中に実施しています。

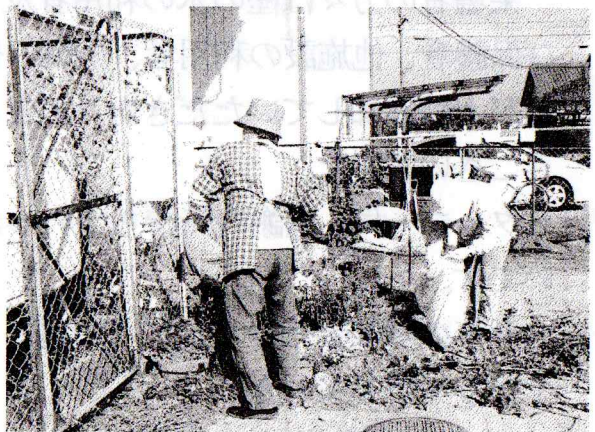
去年は暑くて草も伸びるのが早く、夏の草取りは特に大変でした。

畑仕事や草取りで汗をかいた後、園の移動販売のおいしいコーヒーを飲みながら情報交換をするのも楽しいひと時となります。

みなさんも、時間があれば参加していただき、情報交換されてはいかがでしょうか？



畑仕事のスナップ



夏の草取り風景

### 耳より情報！

萩原に、おいしいコーヒーやランチのお店「**ふらっと**」があります。情報交換の場としてご利用されてはいかがでしょうか？

## かしの木の会コーナー①

### かしの木音楽会を終えて イベント委員会

かしの木の会音楽会を今年も開催することが出来ました。

去年は、インフルエンザで開催することが出来なくて、期待されていた皆様には大変申し訳ありませんでした。

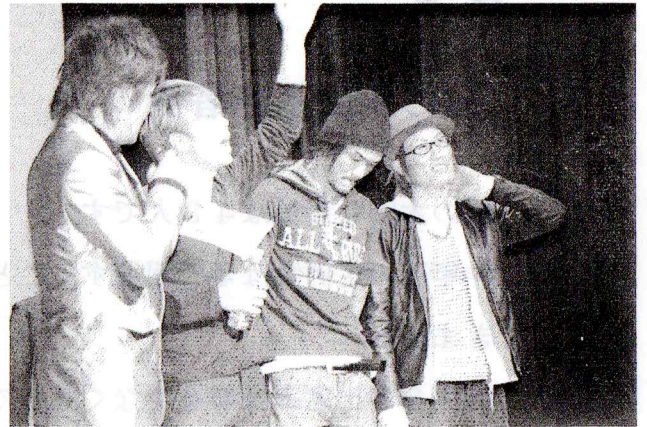
来場者の方々は檜の木の利用者及び保護者、他施設の利用者、一般の皆様が大勢参加していただきありがとうございました。

スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年の音楽会は今までにない盛り上がりを感じました。

出演して頂いたミュージシャンの方々と、利用者、来場者が一緒になって演奏にあわせて、踊りや、手振り等体を使ってのにぎやかさでした。

利用者も自主的に出て、日ごろのストレスを吹き飛ばすかのようにでした。



利用者の表情もいつも見られない自然体の笑顔を見せて楽しいひと時の感じでした。

今年も皆さんにアンケートを頂いたので、少し紹介します。感想については、大変良かったとの回答が多かったです。次回の参加については是非参加したいとの回答が多数でした。アットホーム的でとても楽しかった・今年の演出で十分です・いろんな歌が聞けて楽しめた・私たちの子供のために、出演して頂きありがとうございます・「とがちっち」も良かった・演奏に癒されました・歌を聴いて明日から又頑張れます・カプセルワゴンスクイジーには来年もよろしく・ナッキーさんは声が素敵、等の声を一部届けました。

みなさんがこのように楽しんで喜んで頂ければ、翌年に対する計画、立案の励みになります。

最後にこの音楽会でお世話になった方々（出演者の皆さん、会場で誘導して頂いたボランティアの皆さん、受付の皆さん）ありがとうございました。



# 文芸コーナー

## くじけないで

本論に入る前に、この度は東北関東大震災の被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。現実には、被害は余りにも甚大であり、その悲惨さは我々の想像力を凌ぎ、筆舌に尽くし難いものであります。大切な家族を喪い、棲家や財産などを一瞬のうちに奪われた被災者の皆様には、あらゆる慰めの言葉が無意味なものになるかも知れません。けれども、神様から授かったかけがえのない大切な命ですから、被災者の皆様方には今一度勇気を持ち新しい未来をデザインして戴くことを心から切望して止みません。

さて、今回ご紹介する本は、白寿の処女詩集という見出しで、ベストセラーになった柴田トヨさんの「くじけないで」という詩集です。

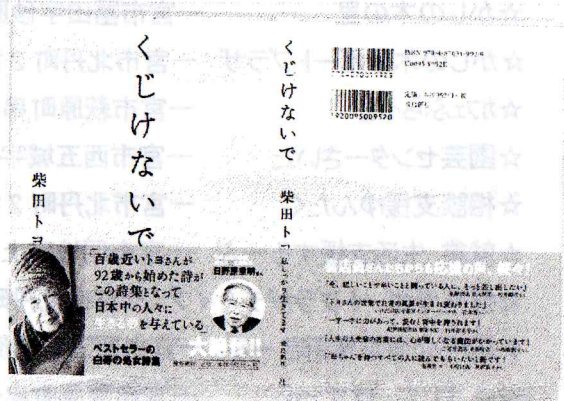
くじけないで  
ねえ 不幸だなんて  
溜息をつかないで  
陽射しやそよ風は  
えこひいきしない  
夢は  
平等に見られるのよ  
私 辛いことが  
あったけれど  
生きていてよかった  
あなたもくじけずに

これは、本の表題になっている詩を抜粋したものです。NHKの番組で、作者である柴田トヨさんのことが紹介され、年老いた私の母のことを考えるヒントになるのでは、と書店で買い求めました。トヨさんは、明治、大正、昭和、平成と一世紀を生きてこられました。B29の空襲のときは、乳飲み子を抱えて防空壕のなかでおっかなくってビクビクしていました。いじめやうらぎり、さびしさなどから、死のうと思ったことも何度かあったそうです。「これ以上、お前たちに迷惑をかけたくないから」とみずから老人ホームに入所した母親との悲しくて悔しい別れや、「全盲になるかもしれない」といわれた手術（緑内障）など不安なこともありました。私、若いころ、奉公先でいじめられたとき、「幸来橋」のたもとでしゃがんで泣いていると、“ふーちゃん”という友だちがきて「がんばろうね」って笑顔でなぐさめてく

れました。泣きやんで、二人で青い空や流れる白い雲を見ていると、なぜか晴れやかな気持ちになってきました。あれから80年余。トヨさんが詩を書くようになったきっかけは、腰を痛み、趣味の日本舞踊が踊れなくなり、気落ちしていたトヨさんをなぐさめるために息子さんがすすめたのが始まりでした。産経新聞の「朝の詩」に入選したときの感動が忘れられなかったそうです。

さらにトヨさんは語ります。この年齢になって、毎朝起きるのは、本当は辛いです。それでも私はベッドからヨイショと起き上がり、バターかジャムを塗ったパンと紅茶で朝食をとります。そしてその日、ヘルパーさんにやってもらう掃除や洗濯などのお手伝いや買い物のリストづくり。さらには公共料金の支払いなどを含めた家計や通院スケジュールなどを考えます。結構、頭を使い、忙しいんです。だからどんなにひとりぼっちでさびしくても考えるようにしています。「人生、いつだってこれから。だれにも朝は必ずやってくる」って。一人暮らし20年。私しっかり生きています。

96歳の私  
柴田さん  
なにを考えているの？  
ヘルパーさんに聞かれて  
困ってしまいました  
今の世の中  
まちがっている  
正さなければ  
そう思って  
いたからです  
でも結句溜息について  
笑うだけでした



樫の木園 橋本

# お知らせコーナー

**【行事予定 4月～6月】**

## かしの木の会総会

**4月29日(祭日) 午前10:00～**

**一宮市尾西庁舎生涯学習センター**

## 榎の木運動会

**5月29日(日) 午前10:00～**

**富田山グランド**

バザーについては、また企画ができた時にお知らせします。

お楽しみに・・・

喫茶 **おやまのカフェ**  
**カフェふらっと**

もご利用ください。

## ☆ ボランティアさん募集

毎月のレクレーション等の行事と一緒に楽しみたい方！作業と一緒に手伝ってくださる方！何でも結構です。先ずはご連絡ください

かしの木の里 担当 清原 中山 林 まで

榎の木園 担当 加藤 まで

榎の木作業所 担当 ニノ宮 まで

かしの木サポートプラザ 担当 後藤まで

G.H.Cびさい 担当 藤谷

## 自主製品 販売中

榎の木園 ふらっとで、コーヒ販売

榎の木作業所(店舗) クッキー パン 駄菓子  
ごみ袋

かしの木の里 ビーズ、革、とんぼ玉、陶芸、5本指靴下、手芸、押し花、木工、石鹸など

ステップ「さいた」 花苗

## 地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

### かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

#### 榎の木福祉会

☆榎の木作業所・どんぐり 一宮市富田字漆畑 16 番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514

☆榎の木園 一宮市富田字若宮 17 番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253

☆ステップ 一宮市明地字上平35番地の1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241

☆かしの木の里 一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200

☆かしの木サポートプラザ 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188

☆カフェふらっと 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 Tel 0586-67-5070

☆園芸センターさいた 一宮市西五城字山方21-1 Tel/Fax 0586-62-0039

☆相談支援ゆんたく 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-64-5882

☆就業・生活支援すろーぷ 一宮市明地字上平 35 番地の 1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241

☆療育サポートプラザチャイブ 一宮市北丹町 2 番地 Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188

☆居宅介護事業所きーぷ 一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200

☆G. H. C はぎわら 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 Tel 0586-67-1787

☆G. H. C びさい 一宮市祐久字九百坪97 Tel 0586-68-6505

(はぎわら .. みずきの家・あおきの家・はすみの家・ポプラ201 びさい .. さつきの家・かえでの家・こぶしの家・あざみの家)